

# 足利風 -ashikaga-fu

2011  
8月号  
Vol. 15



絵: 川島直人



## 足利市民活動センター

開館時間 : 平日 午前10時~午後7時

〒326-0051

栃木県足利市大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

## ☆ ご案内 ☆

- \*特集!
- \*TOPICS
- \*私のボランティアことはじめ
- \*サークル紹介
- \*インフォメーション
- \*センターからのご案内

## \*絆(きずな)\*

東日本大震災の被災地で、いま、一つの歌が被災者の傷ついたところを癒し、明日へのよりどころとなって、静かに広がりを見せている。「絆(きずな)」というB面の歌。30年ほど前に、男声ボーカルグループ・ダークダックスが歌った。詞は塩釜市出身の作詞家・藤公之介さんが書いた。

～糸へんに半分と書いて 絆と読みます

お互いに半分ずつの糸を 結び合うからです

糸の太さは 人それぞれ 顔の違いと同じです

固いか 緩いか ほどほどか その結び目が 大事です

君がいたから 青春だった 君がいるから あたたかい

人はだれでも そんな友達 探し求めて 旅をする

にんべんに半分と書いて 伴うと読みます

人はみな半人前が二人 道づれだからです

一人でできる ことと言えば 互いに たかが 知れてます

一人の旅より 二人旅 触れ合う肩が 語り合う

君がいたから 青春だった 君がいるから あたたかい

人はだれでも そんな友達 探し求めて 旅をする

家族との、地域との、遠来のボランティアたちとの 断ちがたく得がたい結びつきと出会い。それが、生きる支えと希望とを紡ぎ出している。

陸前高田から帰った、その足で、古くからの友人が理事長をしている「館林ダークダックス音楽館」に行き、楽譜をいただいた。被災地からの願いと被災者との絆とを・・・想った。

(M生)

## \*「馬路村発～青年たちと共につくる地域」\*

日本青年館で全国からの青年たちを集めて、3月4日～6日で、「青年と地域活動」の中央フォーラムが開催された。基調講演は、高知県馬路村の上治堂司村長。村特産の柚子の商品開発や海外でも脚光をあびる間伐材製品の木製バッグ・モナッカ・・・などなど、アイデア村長である。人口千人ほどの高齢者の多い村で、毎日1千万円ほどの特産品を全国に送り出



している。私とは旧知の間柄だが、会うたびに「小さい村ですが、若者の意見を取り入れながら、小さくとも輝く村づくりに取り組んでいきますので、応援を頼みます！」と語る。自分の身近にある資源を掘り起こし青年たちに夢を託す、リーダーシップの真髄を見た気がした。

(M)

## \* 私のボランティア活動 \*

～北條栄子～



「おはようございます」流暢な日本語で、時にはたどたどしい挨拶から始まる毎週木曜日の朝。足利市生涯学習センター「日本語ようこそ」の光景である。平成 15 年足利市国際交流協会傘下の基、「日本語ようこそ」を立ち上げ、今年で早 8 年目を迎える。当時、足利市も国際化、グローバル化の波が押し寄せる中、外国人登録者が確実に増加していた。国籍の多様化によって近隣とコミュニケーション不足からくるトラブルも多く、日本語習得の重要性が重んじられた。

「外国人にどの様に日本語を教えるのだろう！」「もし分からないことを聞かれたらどう対処しよう！」そんな期待と不安が入り混じる中、紆余曲折を経て私の日本語講師としてのボランティア活動が始まった。現在、「日本語ようこそ」の学習者は、多種多様な人達で構成されている。日本での滞在日数、日本語学習歴、学習環境により日本語のレベルも大きな差がある。従って初級から上級までと幅広く、学習者のニーズに合った指導をしている。「夜勤が終わって帰る時、どう挨拶したらいいですか」「この通知なんて書いてありますか」。日本語講座の“役割”を考えた時、単に日本語指導だけではない気がする。学習者の悩みや情報交換、又、憩いの場であり、基本的な日常会話が出来ると、職を求めて巣立ちの場となる。ボランティア活動を通し学習者の背景にある「異文化」の刺激的な香りを嗅ぐ事もある。

ここは、学習者と講師が互いに学び、相手を認め合う多文化交流の「心の居場所」である。地道な活動だが足利が外国人にとって第二の故郷のように住み易くなるよう、日本語学習支援の輪を広げて行きたいと思っている。そして何より嬉しいことは、学習者の目が輝きを増し「日本語が上手になりましたね！」の声に「ありがとうございます。皆さんのおかげです！」と、笑みを返してくれることだ。

---

## \* やさしい風 \*

足利庭園文化研究会 代表 外丸実

私たち庭園文化研究会は、足利市に残る地域歴史庭園の保存・活用を行っている団体です。このたびの東日本大震災で甚大な被害を受けた被災者の支援を行うため、被災地宮城県亘理町にて活動を行っています。被災者を支援したいとの思いから、定期的な活動を行ってききましたが、被災者の方々の力強さと、このような時にでも無くさない周りの人達に対するあたたかい心など、ただただ頭が下がるばかりです。

被災された方々とのふれあいや、全国より駆け付けているボランティアの方々との出会いから、私達は“人として大切な何かを”毎回教えて頂いているような気がします。

亘理町は、城下町の面影と古い町屋を残す歴史文化や自然豊かな田園都市であり、夏には美しい海と温泉施設に多くの観光客が訪れているそうです。また、明治初年には亘理藩の日就館蔵書973冊を足利学校に寄進下さり、現在も足利学校に大切に保管されています。これらのことは、私達をはじめ多くの市民に知る人は少なく、亘理町との友好関係も薄くなってしまっていたかもしれませんが、私達は被災地復興支援活動を機に、足利市と亘理町の間を繋ぎながら、多くの方々と更なる交友関係を築くことが末永い支援の一つに繋がると考えています。これからも被災地に様々な“やさしい風 足利風”が吹き続くことを心から願っています。

## ① インフォメーション ①

### ☆がんばろう東北！ 現地ボランティア報告会

#### 「南三陸 庄内の風」

3. 11 東日本大震災発生直後の混乱の中、壊滅的な被害を被った宮城県・南三陸町の人々のいのちの灯をつないだのは、友好町の山形県庄内町の人々だった。そして、南三陸町への支援の道も閉ざされていた時に、足利からの支援をつないだのも庄内町の人々だった。

今回は、被災地と支援者をつなぐコーディネーター役を中心的に担った富樫透さんに、足利にお越しいただき、現場からの生きいきとした報告をしていただきます。

お誘いあわせの上ご参加ください。

日 時：平成 23年 8月 16日(火) 午後6時30分～8時30分

会 場：足利市民活動センター

講 師：富樫 透さん

(山形県庄内町議会議長)

(協力隊を支援するやまがた地球家族の会事務局長)

参加費：無料

定 員：50名(先着順)

問合・申込：足利市民活動センター (TEL:44-7311)

### ☆とちぎ協働フォーラム in 足利2011

足利市を軸に、佐野市・栃木市の中間支援センターに協力をいただき、多彩かつ意欲的な市民活動の様子が紹介されます。早瀬昇さんの基調講演のほか、分科会や交流会も行いますので、みなさんお誘いあわせのうえご参加ください。詳しくは、足利市民活動センターまでお問い合わせください。

日 時：平成 23年 9月 10日(土) 午後1:00～4:15～6:00

会 場：足利市民会館・足利市民活動センター

## \* センターからのご案内 \*

### ☆みんなの広場～8月・9月のご案内～

\* オール アバウト ワイン展(8月1日～18日)

\* フィリピン展～アンジェラ高山と仲間たち～(8月22日～9月1日)

\* 水彩画作品展～川島直人の世界～(9月5日～15日)

\* 刻字展(9月20日～10月6日)

### ☆相談室&講座のご案内

\* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

\* 講 座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

### 編集後記

関東地方でも梅雨が明け連日猛暑が続いています。今年は震災の影響もあり皆が知恵を絞って節電に協力しています。あと2ヶ月余り健康に注意して上手に節電と向き合っていこうと思います。

(撫子)